

信 州 新 聞



水引ジュエリーが並ぶ展示会



水引細工の実演も

飯田商工会議所（柴田忠昭会頭）と飯田市内の水引製造会社4社でつくる「ジャパンブランド飯田水引プロジェクト」（唐澤秀宜代表）が、デザイナーの加藤尚子さん（東京）とのコラボレーションにより製作した水引を使った装飾品を展示販売する。「NAOKOKATO オフジェリー展2016」のレセプションパーティーが14日、東京都のポラザビューティ銀座店で開かれた。同店の顧客や加藤さんのファンら約120人が来店する中、同プロジェクトメンバーや柴田会頭、牧野光朗市長らも参加し、日本最大の水引産地飯田と、装飾品としての水引という新たな可能性をPR。さっそく買い求める姿も多くあり、好感触にメンバーらは安堵の表情を見せていた。

# 水引ジュエリー好感触

飯田水引 P J ポーラ銀座店で展示会

加藤さんは、「オフジエ」が中心となつて、日本の地域産業、伝統産業を「ジュエリー」に落とし込むことで新たな魅力を引き出す「オフジェリーデザイナー」として活躍する。これまでに阿波の藍染めや、加賀友禅、飛騨の二刀彫などをテーマに、同店で企画展

を開催しており、6回目を今回は、過去に加賀水引を用いた経験から、全国シェア約70%を誇る飯田市に着目し、飯田商議所を通じて企画展の開催を持ちかけたという。

ことし2月に話を受けた同プロジェクトでは、近年続く需要の低下を打破する足掛かり

として、「ポーラ」というネームバリューを生かさない手はない」と快諾。デザインなど加藤さんとの打ち合わせを重ねながら、6月ごろに製作アイテムを具体化させると、以降試作を繰り返し、開催ぎりぎりまで調整を進めてきた。

今回出展したのは、金属製ワイヤの土台に水引を市松模様や編みこんだチョーカー（直径約15センチ）をはじめ、水引をレース編みにしたネックレスやイヤリング、飾りチョーカーなど約40種類。加藤さんは「銀座という土地柄や美を追求するポーラさんで展示する以上、半端なものを出さない」と、細部まで品質にこだわり注文を出し続けたといい、「職人の皆さんが一生命を要望に込めていたとき、

を実現することができた」と喜んだ。都内から訪れた高崎さつきさん（48）は、「水引といえば御祝儀袋というイメージだったが、素晴らしいアク

セサリーになっていて驚かされた。ぜひ飯田市から全国に、世界に発信して欲しい」と笑顔で語った。唐澤代表（59）は「本当に受け入れられるの

が不安も大きかったが、華やかな雰囲気の中、多くの手に取っていただき、購入していただくこともできてほっとしている。これまでは素材としての水引をPRすることに力を入れており、商品としてPRするのは初めて。今回は持ち出しが多い状況だが、お客様の反応を見ながら新たな需要の開拓へ、受注生産の展開など加藤さんと連携して取り組んでいければと話した。同展示会は20日まで行われる。